

(社) 日本証券アナリスト協会寄附講座概要 (大学向け)

項目	標準的な姿
1、概要	<p>当協会編「証券アナリスト基礎講座テキスト（第1分冊、第2分冊）」を基本テキストとして使用、期間4～6か月、講義回数10～15回の単位認定科目講座（講義）。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>—講義初回のガイダンス、最終回の単位認定試験は大学側が担当。</li><li>—単位認定試験は当協会の「基礎講座修了試験」を充当することも可（大学側と要調整）。</li><li>—大学側との講義分担は個々に調整（当協会派遣講師が全て担当することもある）。</li></ul>
2、対象	4年制の大学生（商・経済・経営等の学部生）。
3、目的	<p>将来、銀行、証券、生損保等の金融機関や企業財務分野での活躍を目指す学生向けに、金融や証券に関する基礎知識（理論と実務）を習得させる。</p> <p>入門・基礎編の「証券アナリスト基礎講座」を修了後は、将来のアナリスト資格取得に向けて、「証券アナリスト第1次レベル通信教育講座」（証券分析とポートフォリオマネジメント、財務分析、経済の3科目）の受講を勧奨。</p>
4、講義	<p>2分冊・4部構成の「証券アナリスト基礎講座テキスト」（注）に沿って講義（適宜、実務・実践的な事例解説を交えることが必要）。</p> <p>講義は、同テキストの第1部～第4部までを1人で担当することも可、</p> <p>又は得意分野のみ（例えば第3部のみ）担当することも可（講義内容の詳細は、大学側と要調整）。</p>

	<p>(注) テキストの構成と内容</p> <p>&lt;第1分冊&gt;</p> <p>第1部：証券投資の基礎 証券投資の意義・機能、経済活動の尺度、企業の活動、代表的証券や市場など証券市場全般、企業金融について解説。</p> <p>第2部：証券投資の理論 資産とは何か、現在価値・将来価値の計算、資産や証券の評価方法、デリバティブ入門までを学習。</p> <p>&lt;第2分冊&gt;</p> <p>第3部：証券投資の応用 証券投資の基礎と理論で学んだことが、アナリストによる実際の証券の評価や、投資家の資産運用にどのように活用されるか、事例を基に解説。</p> <p>第4部：証券投資の実際 日本経済と金融・資本市場の現状と主な市場参加者を概観し、機関投資家のポートフォリオ運用の実際と関連事項を学ぶ。</p>
5、謝礼等	講師謝礼は1回当たり2万円程度(税込)、大学までの実費交通費支給。